

## 保健だより特別号 生殖機能の成熟③～性とうき合うか～

10月29日(水)5校時に、中学校1年生を対象に第三回目の性教育の授業を実施しました😊授業のめあては、「性意識の変化を理解し、適切な行動を考えることが出来る。」です!

三回目の授業は、情報量が多く5校時で眠たい中、生徒達よく頑張っていました★

## 性意識の変化と性の尊重

性に対する意識には、男女差や個人差があり、それを無視すると**デートDVやセクシャルハラスメント**につながる事を説明しました。

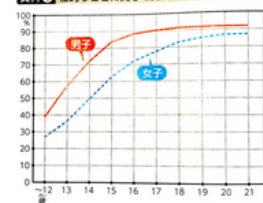
皆には、セクシャルハラスメントやデートDVにはどのような発言や行動が当てはまるか考えてもらいました。

## 性意識の変化

- 性的欲求や性衝動が強くなる
- 性的なことに関心を持った経験が増加
- 男子の方が関心が高い

☆性意識には男女差がある

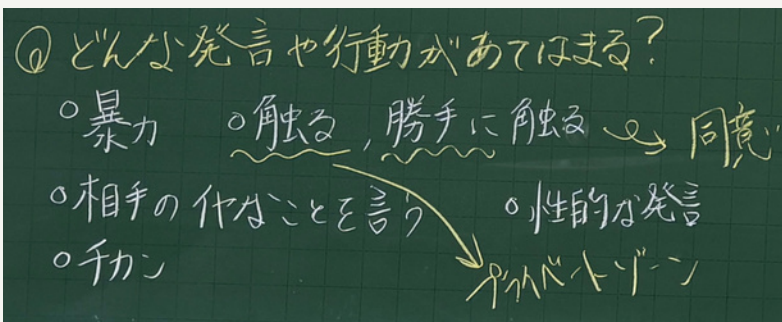
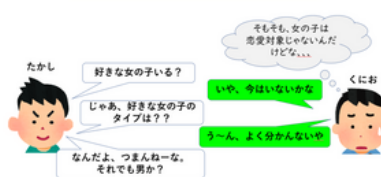
資料① 性的なことに関心を持った経験 (2017年)



## 性の尊重

- LGBTQ: 性的マイノリティ(少数派)
- ・必ずしも異性を好きになるわけではない
- ・性的関心を持たない人もいます

☆性意識には個人差がある



勝手に触れることや相手の嫌がることを言うことがデートDVやセクシャルハラスメントに当てはまると回答してくれました。では、触れたいときはどのようにすれば良いのか聞くと、ある生徒から「**同意が必要**」と発言がありました。恋人関係でも勝手に触れて良いわけではなくて、必ず触れて良いのか確認する必要があります😊

また、痴漢という意見が出ていたので、勿論体の全部大切だから触らせてはいけなけれど、特に触れさせてはいけない所があるがどこか聞きました。みんなどこだろう?と考えてくれていましたが「**プライベートゾーン**」だよと伝えると「あ～」と反応していました★

プライベートゾーン  
・水着で隠れるところ  
・お尻



## どんな人やモノから性に関する情報が発信されているか?

★生徒の回答より★

- 保健の先生 ○友達 ○先輩 ○知人 ○医者
- SNS (YouTube、Instagram、TikTok、X)
- Google ○ヤフーニュース



家庭庁の令和5年度「青少年のインターネット利用環境実態調査」報告書によると、中学生のインターネット利用率は98%である事が明らかになっています。

また、生成AIの技術が進み簡単にニセ画像やフェイクニュースを作りあげることが出来る時代です。

情報をいつでも誰でも簡単に入手できる世の中だからこそ、**受け取る側が適切に情報を取捨選択し、正しい情報であるか診断する必要があります。**



## だいたいかなリスト

- だ(誰が) この情報は誰が発信したか?
- い(いつ) いつ発信されたのか?
- じ(事実) 情報は事実か? 参照はあるか?
- か(関係) 自分とどのように関係するのか?
- な(なぜ) 情報発信の目的はなにか?



## 自分は性加害者になることはない、..?

2021年3月に北海道旭川で、中学2年生の女子生徒が上級生からのいじめ(性暴力含む)により自殺した事件がありました。性被害・性加害が児童生徒の周りにも身近に潜んでおり、だれがいつ加害者・被害者になるかは分からない事を伝えました。そのことから、自分の口から発せられる**言葉には責任を持つ**ことが大切であることを説明しました。

また、ネットに上げた画像はネットの世界に残り続け削除は困難であり、それを入れ墨に例えて「デジタルタトゥー」と言います。SNSでの軽はずみな投稿や本人の許可無くネットで拡散した画像のことで、取り扱いには気をつけるように話しました。

## 授業を終えて...

子ども達は、これから先も沢山の困難や課題を乗り越えて成長してくと思っています。そんな時に少しでも「自分の心と体はとても大切で同じくらい相手の心と体も大切」なんだと思い出してくれたら嬉しいですよ😊

私の好きな小田和正の「たしかなこと」という歌にも似たような言葉があります。「自分のこと大切に、誰かのことそっと想うみたいに。」中々、自分や相手とうき合うのが難しいからこそ大切にしたいと想います★